

教員氏名	塚本 江美	職位	准教授
最終学歴	南山大学大学院国際地域文化研究科国際地域文化専攻博士課程修了（2016年）		
学位	博士（地域研究）		
役職		委員会	入試委員会
担当科目	<p>英語コミュニケーション学科 「国際関係論Ⅰ、Ⅱ」 「English in ActionⅠ、Ⅱ」 「英語専門演習」 「卒業研究」 「海外英語実習」 「地域研究Ⅰ（アメリカ）」（桜花学園大学国際教養こども学科同時開講）</p> <p>専攻科 「国際関係特論」 「英語研究法」</p>		
教科書・教材・教育方法の実践例	<ol style="list-style-type: none"> 1. Moodle、Teams、Zoomを使った授業活動。 2. 実務経験を踏まえた地域の多文化共生における現状や国際につながる社会貢献ができるボランティア活動、NPOやNGOの活動を積極的に紹介、および地域の人々や他大学の学生との意見交換会を実施。 3. アメリカミシガン州立大学で日本語を学ぶアメリカ人学生とのオンラインでのコラボ授業などを実施。 4. 理論の枠組みへの理解を促進させつつ、現状と課題を考える機会を提供。 		
教育研究業績	<p>「モン難民のアメリカでの定住と社会の反応—多様性が加算される社会の条件—」 『多文化共生研究年報』第18号、2021年、pp. 1-12</p> <p>“Challenges to Desegregate Public Housing: Revisiting the Gautreaux Legacy,” Nanzan University, Center for American Studies. <i>Nanzan Review of American Studies</i>, vol. 42, 2020, pp. 43-64</p> <p>“Now and the Future: Why American Studies are More Important Now for Japan than Ever Before,” Nanzan University, Center for American Studies. <i>Nanzan Review of American Studies</i>, vol. 38, 2016, pp. 105-110</p> <p>「実現可能な多文化共生を考える—豊田市の外国につながる子どもに関わる取り組みから」、『南米につながる子どもたちと教育—複数文化を「力」に変えていくために—』牛田千鶴編、行路社、2014年、pp. 69-84</p>		
所属学会	アメリカ学会会員、名古屋アメリカ研究会会員、日本アメリカ史学会、名古屋多文化共生研究会／トランスナショナル研究会会員、移民政策学会		